

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本競技会は、2025 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項により実施する。

- 2 練習は、トラック種目・跳躍種目は本競技場・サブトラックを使用する。砲丸投は投てき練習場、棒高跳は本競技場内で下記に定める時間に、監督の付き添いの下に行うことができる。

	本競技場の開放	投擲練習場	サブトラック	棒高跳ピット
7/5(土)	7:00～ 9:00	7:00～16:40	7:00～16:40	7:00～ 9:00
7/6(日)	7:00～ 9:00	7:00～15:00	7:00～15:00	

3 招集について

- (1) 招集所は、第3ゲート外側に設ける。
(2) 招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準として、次の通りとする。

		招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	予選・決勝	30分前	15分前
フィールド競技	走高跳・走幅跳・砲丸投	60分前	40分前
	棒高跳	60分前	50分前
四種競技	トラック競技	30分前	15分前
	フィールド競技	60分前	40分前

- (3) 競技者は、招集開始時刻までに招集所に集合すること。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなされ出場できない。

(4) 招集の手順

招集開始時刻とともに、本人が第一招集リストに○印をつけ、トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取る。第一招集受付後は待機所で待ち、第二招集（最終点呼）を受ける。

(5) リレー競走の招集について

リレー競走に出場のチームはあらかじめ招集所からオーダー用紙を受け取り、各ラウンド第1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に1部提出する。（競技規則TR24.11）

リレーオーダー用紙提出の締切時刻

	予 選	決 勝
共通女子	7/5 (土) 13:50	7/6 (日) 12:55
共通男子	7/5 (土) 14:10	7/6 (日) 13:00
低学年女子	7/5 (土) 13:10	7/6 (日) 12:45
低学年男子	7/5 (土) 13:30	7/6 (日) 12:50

(6) 四種競技出場者の招集について

四種競技出場者も、他種目同様に招集所に集合し点呼を受ける。また、3種目終了した時点で最終種目の番組編成を行う。

- (7) 点呼は招集所と現地の2ヶ所で行うので、呼ばれたら大きな声で返事をする事。

- (8) 欠場するときは、あらかじめ競技者係に招集開始時刻までに申し出ること。（欠場届）

4 競技について

- (1) 競技の進行を速やかにするために、次のことを厳守する事。

【トラック競技】

- ・ 次のレース（組）に出場する競技者は、競技時の服装になり、自分のレーンでスターティングブロックを準備する事。
- ・ 不正スタートをした競技者は1回で失格とする。ただし四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格とする。（競技規則TR16. 8）

【フィールド競技】

- ・ 次の試技順の者は、競技時の服装で試技できる準備をすること。
- ・ 理由なく進行を遅らせた場合には、その試技を無効試技とする。
- ・ 競技者に許される試技時間は以下の通りである。（競技規則TR25. 17）
 - * すべての種目 … 1分
 - * 人数が少なくなったとき

残っている競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	砲丸投
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	1分
1人	3分	5分		2分	
連続試技	2分	3分	2分	2分	2分

- (2) 招集所からスタート地点及び競技場へ移動する場合は、必ず係員の誘導に従って規律ある行動をとること。競技者以外者は競技場内に立ち入る事が出来ない。（監督、父母、付き添いなど）ゴール後の本部席前の通り抜けは厳禁である。
- (3) 800m競走は、第2コーナーの出口までセパレートレーンを使用する。オープンになる位置は、第2コーナーのブレイクラインからである。
- (4) 本競技場は全天候舗装なので、スパイクピンの長さは9mm以内、走高跳は12mm以内とする。（競技規則TR5. 2）
- (5) リレー競走について
 - ① 共通リレーと低学年リレーを兼ねることは出来ない。
 - ② 低学年リレーの登録は6名以内とし、各学年4名までとする。メンバーは2年生2名、1年生2名とし、走順に制限はない。
 - ③ リレーチームにおけるユニホームは同一系でなければならない。やむを得ない理由で、ユニホームが揃わない場合には、事前に総務に申し出ること。
マーカーの使用は1ヶ所とする。（大きさは最大50mm×400mmの粘着テープ）（競技規則TR24. 4）
マーカーはチームで用意し、使用したマーカーは各チームの前走者が責任を持って撤去すること。
- (6) 助力について（競技規則TR6. 3. 2）
ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することを禁ずる。
- (7) 同記録の扱い方
トラック競技において同記録が出た場合、1000分の1秒で判定する。1000分の1秒でも同記録の場合は、抽選とする。（競技規則TR21. 2）

5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス（番号布）は原型（規格どおり）のまま折り曲げたりせず胸と背にはっきり見えるようにつけること。ただし、跳躍競技は背または胸だけでもよい。腰ナンバー標識はゴールした後その場で係員に返却すること。
- (2) 3000mの競技は、特別アスリートビブスを使用するので、競技開始時刻1時間前までに招集所へ受取りに来ること。その際、正規アスリートビブスを持参すること。腰ナンバー標識を2枚取り付ける。

6 競技用具について

競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用し、個人所有のものは使用できない。ただし、棒高跳用のポールは検査を受け、合格したものに限り使用が認められる。

7 フィールド競技の計測について

下記の記録に到達しないものは計測をしない。なお、有効試技の第一投、第一跳躍は計測する。

- ・走幅跳 共通男子 … 5m00 共通女子 … 4m00
- ・砲丸投 共通男子 … 8m50 2・3年女子 … 8m50

※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、審判長が決める。

8 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

走高跳 男子	(1m45)	50-55-60-65-70-75-80-85…	以上3cmずつあげる
四種	(1m35)	40-45-50-55-60-65…	以上3cmずつあげる
女子	(1m20)	25-30-35-40-45…	以上3cmずつあげる
四種	(1m10)	15-20-25-30-35…	以上3cmずつあげる
棒高跳	(2m40)	50-60-70-80…	以上10cmずつあげる

- (1) 共通種目の決勝においては、最後の1人となり、優勝者が決まるまで上記のバーの上げ方とする。四種競技においては、最後の一人になっても3cmずつあげる。
- (2) 第1位が同記録の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

9 表彰について

8位までに入賞した競技者に賞状を授与する。

10 その他

- (1) 競技運営上必要な情報、指示、伝達はアナウンスするので聞き逃しのないよう注意すること。また、各種目の成績及び総合順位は、大型スクリーンとアナウンスおよび正面入り口付近の掲示板で行う。
- (2) 競技者は、あらかじめ出場する種目の招集時間、組、レーン、試技順等や、競技注意事項等を熟知するよう努めること。
- (3) 本大会4位までに入賞した競技者は、令和7年8月5日(火)～7日(木)に福島県で開催される第46回東北中学陸上競技大会の出場権を得る。
- (4) 本大会において別紙に示した全国大会標準記録突破者は令和7年8月17日(日)～20日(水)に沖縄県で開催される、第52回全日本中学校陸上競技選手権大会の出場権を得る。共通リレーについては、本大会の優勝チームと第72回岩手県中学校総合体育大会陸上競技の優勝チームのうち、優勝記録の良いチームが出場権を得る。
- (5) WA規則第143条(TR5:シューズ)のルールについて、本大会においても適用になるが、砲丸投のみ、アップシューズでの参加を認める。